

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全のための注意事項

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

危険	・取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
注意	・取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

危険

■吊り上げ時の注意(図1)

- ・本品を吊り上げる場合には、必ず4ヶ所で吊り上げ、45度以上の角度で均一な荷重にしてください。
- ・2ヶ所での吊り上げや45度未満の吊り上げ角度、使用荷重オーバーは落下の恐れがあります。

アイボルト使用荷重(45度吊り(2個につき)) 4.41kN (450kgf)

※45度以上
図1

■施工上の注意

注意

■設置上のご注意

- ・耐震固定対策のため、角座金等により補強し、M16のアンカーボルトによって固定してください。
- ・重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。
- ・感電防止のため、必ず接地(アース)してください。
- ・ベース底面のアンカーボルト取付用穴4-φ20を使用し、M16アンカーボルトにて床面に固定してください。

	最小埋め込み深さ
ボルト径 M16	70mm

あと施工アンカー施工例

- ・必ず設置場所床面のレベル出しを行ってください。扉の開閉等に支障をきたす恐れがあります。
- ・激しい地震などから転倒・変形を防止するため、角座金等を使用して確実に固定してください。
- ・アングル等を使って設置面を上げる際は、下側からキャビネット内部に水が浸入する恐れがあります。

■使用上の注意

注意

- ・天井面への局所的な荷重を避けてください。変形の原因になります。
- ・ボックス本体に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコミや歪みが発生し、強度の劣化につながります。
- ・本体は屋内専用です。屋外には使用しないでください。
- ・高温、高湿、腐食性ガスなどの雰囲気での使用は避けてください。錆、腐食が発生します。
- ・穴加工後のお取扱いについて
 - ・FJシリーズの保護等級は穴加工をした時点でその性能は保証できなくなります。
 - ・穴加工した場合に取付けられるパーツは、IP性能に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。

■扉の外し方について

⚠ 注意

扉・側板は、重量物です。ケガ防止のため、一人で着脱作業は行わないでください。

・扉を外す時には以下の手順で作業を行ってください。

- (1) 扉の開角度を約60度に保ち、ドアストッパーをフレーム側から外す。(図1)
- (2) 扉の開角度を約90度に保ち、蝶番のネジ部を矢印の方向にドライバーで回し、蝶番ピンのはめ合いを外す。(図2)
- (3) 扉の開角度を約90度に保持したまま扉を蝶番から矢印の方向に外す。(図3)

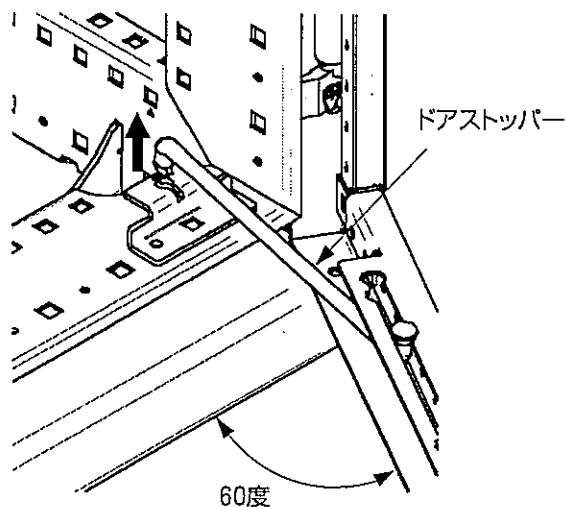


図1/ドアストッパーの外し方

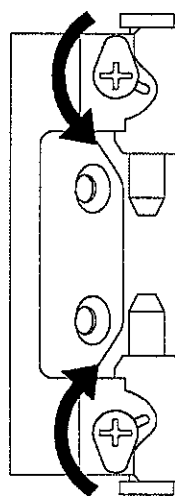


図2/蝶番ピンの外し方

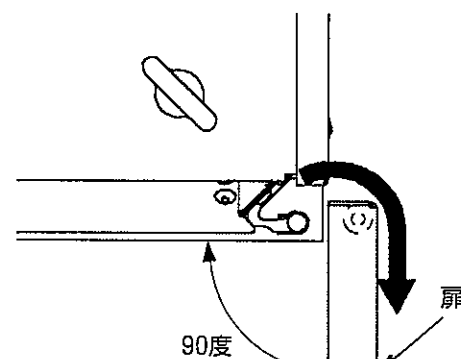


図3/扉の外し方

・扉を取り付ける時には前記の逆の手順で行ってください。

取付け時、蝶番は扉の中央部より取り付けてください。蝶番ネジ部を矢印と逆の方向に回し、確実に固定してください。図4に表記されている順番に蝶番ピンをはめ合すと容易に扉を取り付けることができます。

キャビネット下部の下面開口プレートは、下部入線口カバーのため強度がありません。荷重は、基台又はフレームで直接受けるようにしてください。

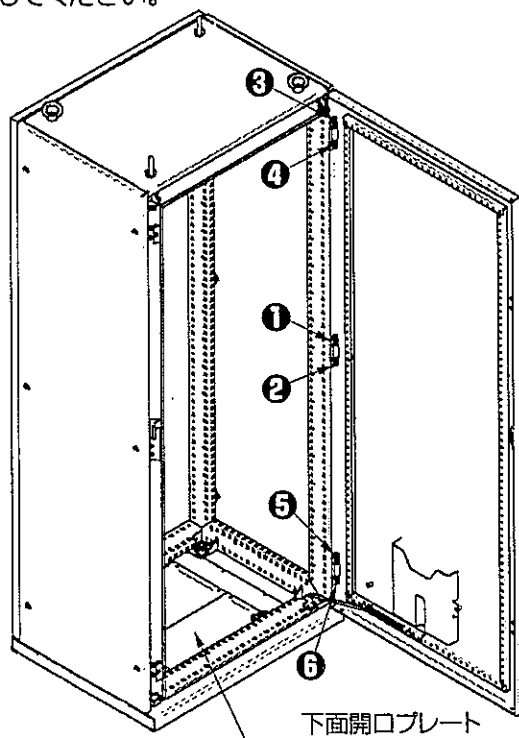
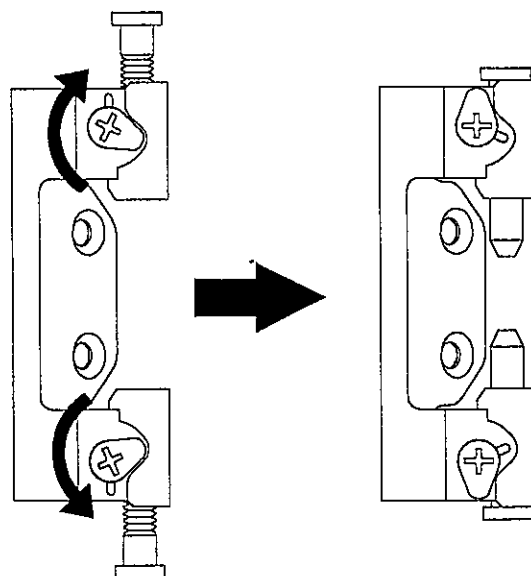
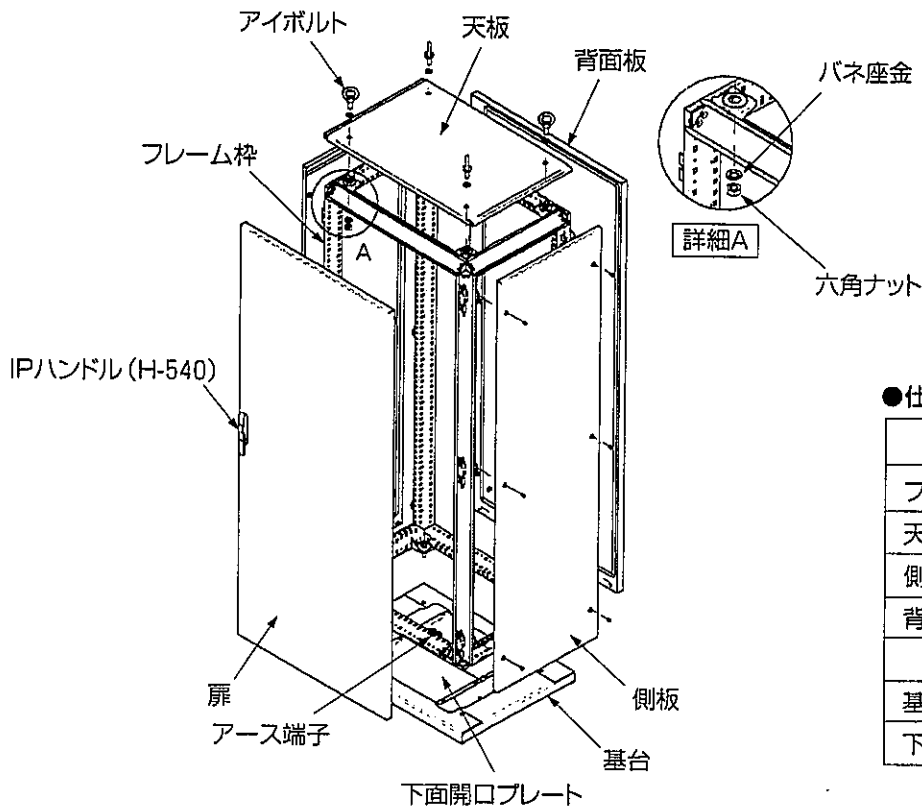


図4/蝶番のはめ合わせ順序



■本体構造・各部名称

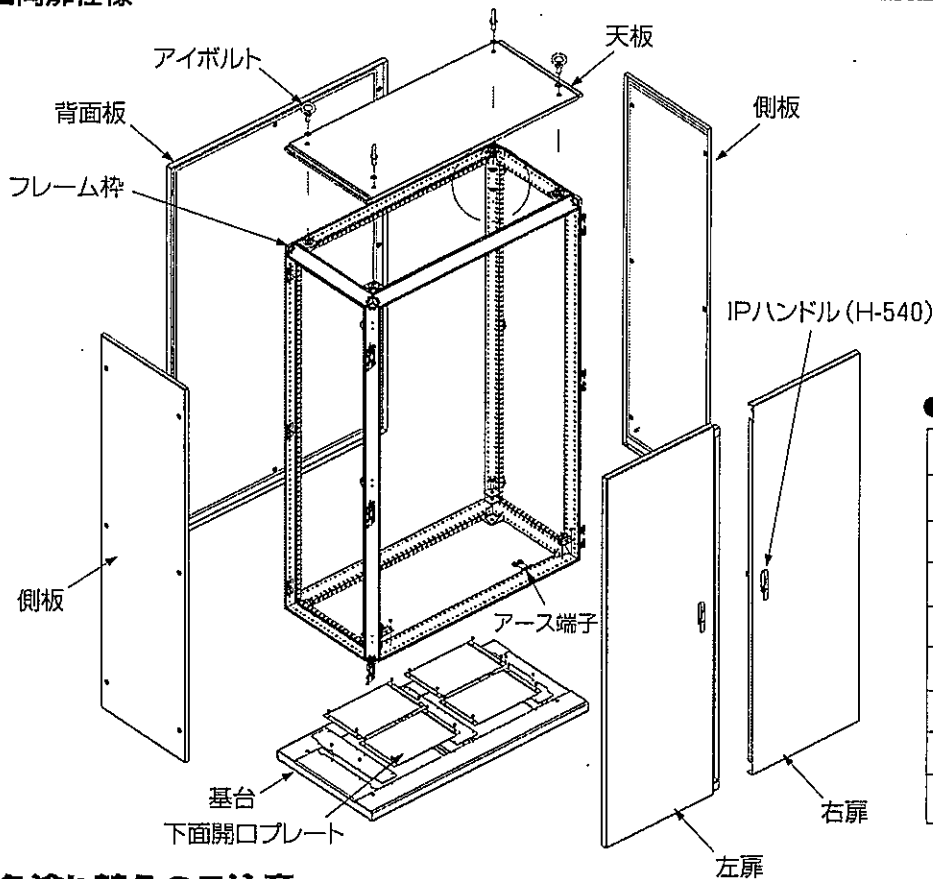
■片扉仕様



●仕様

部品名	材質	板厚
フレーム枠	鋼板	t2.0
天板		t2.3
側板		t1.6
背面板		t1.6
扉		t2.3
基台		t4.5
下面開口プレート		t1.6

■両扉仕様



●仕様

部品名	材質	板厚
フレーム枠	鋼板	t2.0
天板		t2.3
側板		t1.6
背面板		t1.6
右扉		t2.3
左扉		t2.3
基台		t4.5
下面開口プレート	t1.6	

■色塗り替えのご注意

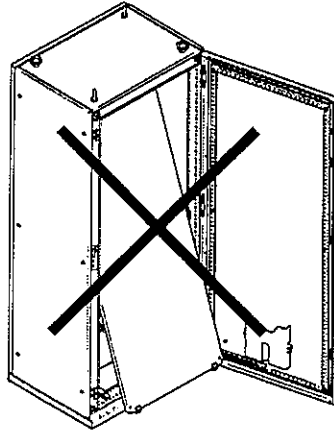
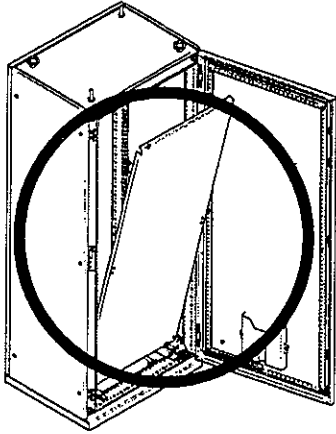
- ・パッキンを剥がすのはお止めください。IP性能を満足できる代替品がありません。
- ・パッキンのマスキングに当たっては、粘着力の弱いマスキングテープをご使用ください。
- ・焼き付き塗装をされる場合は、耐熱性があり熱固着しないマスキングテープ(ニチバン334、スリーエム244又は2305)をご使用ください。
- ・マスキングテープを剥がす際はゆっくりと剥がしてください。

■鉄ベースの取り外し時のご注意について [FJT]



危険

- ・鉄ベースを外される時は下図のように上部を手前に引いて引き出してください。
鉄ベースの下部が手前になりますと鉄ベースが飛び出してくることがあり、非常に危険です。



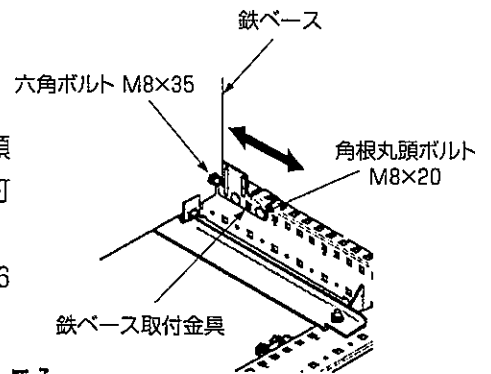
注意

- ・鉄ベースは重量物です。けが防止の為、一人で作業は行わないでください。

鉄ベースは六角ナットを外すとフレームから取り外すことができます。

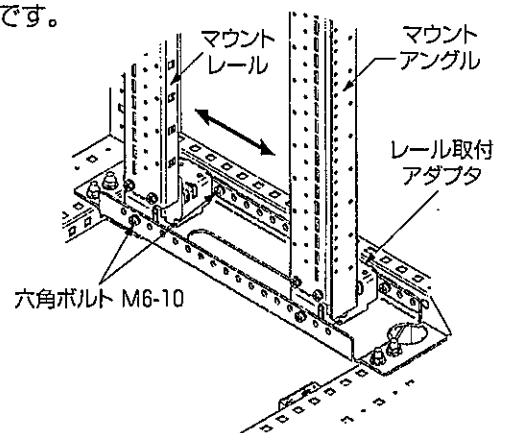
■鉄ベースの前後移動について [FJT]

- ・鉄ベースを取付けている鉄ベース取付金具(上、中、下各2個)のネジ(角根丸頭ボルトM8-20 12個)を取り外しますと、鉄ベースの前後移動が25mmピッチで可能です。
- ・鉄ベースの動きが悪い場合は鉄ベースを固定しているネジ(六角ボルトM8-35 6個)を緩めて移動を行ってください。



■マウントアングル・マウントレールの前後移動について [FJE]

- ・マウントアングル・マウントレールを取付けているレール取付アダプタ(上、下各4個)のネジ(六角ボルトM6-10)を取り外しますと、前後移動が20mmピッチで可能です。



ご注意

- ・マウントアングル・マウントレール間のピッチを変更しますと、下記オプションの実装ができません。同一ピッチになるよう前後とも同様に移動してください。

<input type="checkbox"/> スリット付台板セット	[RD152-◇SN(SK)]
<input type="checkbox"/> スリット付スライド式台板セット	[RD162-◇SN(SK)]
<input type="checkbox"/> 重量用台板セット	[RD151-◇SN(SK)]
<input type="checkbox"/> 重量用スライド式台板セット	[RD161-◇ES(ESK)]
<input type="checkbox"/> L型レール	[RD65-◇PW(K)]
<input type="checkbox"/> 線止めバー	[RD83-D◇PK(K)]

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2008年7月現在のものです。

NITO 日東工業株式会社
©NITTO KOGYO CORPORATION

技術相談室 / 愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
TEL (0561) 64-0152
<http://www.nitto.co.jp>

B881511920
SK-045D